

# 熊谷江南 小江川 1000本桜

ガイドMAP

熊谷・江南に  
2つ目の桜の名所誕生！  
荒廃林が見事に蘇り、  
10年、20年後は  
一大名所へと大変身！



# 10年間の活動の成果

- ①コースの全長12km  
植栽距離5.2km超
- ②荒廃地解消面積…東京ドーム6個分  
(まだまだ拡大成長していきます)
- ③ボランティア動員のべ5,000名超
- ④協力をいただいた地権者70名超
- ⑤200年前の史跡・聖観寺の  
発見・整備保存を終えました
- ⑤日本花の会主催  
「全国花のまちづくりコンクール」入選
- ⑥コースの案内標識、ガイドマップ、紙芝居  
CD『1000本桜音頭』

## 環境改善の効果

- ①大鷹が移り住みました
- ②40年ぶりにホテルが復活しました

## 都心から70キロ 熊谷の里山の四季の楽しみ

熊谷市は埼玉県北部の中心都市。利根川と荒川にはさまれたほぼ平らな地域は、市街地と田園地帯のバランスがとれた住みよいまちです。

小江川地区がある旧江南町は、熊谷市南部、

荒川南側に広がる地域。武蔵丘陵の入り口にため池が点在する、「里山」イメージぴったり風景が広がっています。

熊谷は駅すぐ南の荒川堤の桜が有名ですが、この里山に10年かけて春の名所として1000本の桜の道をつくろうという計画が「小江川1000本桜」。そして、桜以外の季節にも楽しめるハイキングコースの整備も進んでいます。

## アクセスMAP



ホームページ



google map  
事務局住所

小江川地区1000本桜事業 事務局  
〒360-0103 埼玉県熊谷市小江川429  
☎ 048-536-2738 (岡部)  
<http://oegawa1000.wixsite.com/start>



荒れた里山を何とかしようでも、「それだけじゃおもしろくない」

まだわずか10年前。小江川の里山の多くは荒廃していました。

自治会を中心に「自分たちの力で何とかしよう」ということになった時、「荒れた山をきれいにするだけじゃおもしろくない。「桜でも植えよう」というアイデアが出て植栽が決定。それは荒廃地解消という目的から手段である桜の植樹、いわば「本音の活動」にシフトしたといえるのではないだろうか。

さらに、平成21年スタートの熊谷市の市民協働「熊谷の力」事業に応募して採用決定。翌22年から1年に100本ずつ1000本の桜を植えていく、「小江川1000本桜事業」が始まりました。

里親、大鷹、音頭、紙芝居：

桜から広がったあれこれ

植栽は年に一度。苗木は当時テングス病に悩まされていたソメイヨシノでなく、よりピンクが濃い「神代曙」を選びました。

より多くの人に関心を持ってもらうための工夫が、1本2500円でそれぞれの想いのこもったネーミングを楽しむ「里親制度」。プレートには

家族や大事な人の名前をはじめ、「卒業記念」「親子三代」など思い思いの



平成21年

10年かけて  
100本ずつ増やした  
1000本の桜

ルも住み始めました。

現在も12名の



ネーミング。訪れる人を楽しませます。

10年の間に、「熊谷の力」のほか「埼玉県寄居林業事務所などいくつかの支援を活用。200年前の史跡が発見。整備され、大鷹、40年ぶりに復活したホタ



役員を中心に、5〜11月の間に草刈り、剪定、施肥、消毒など維持管理活動のほか、希望に応じて伐採、整備、植栽も継続。500名を超える里親さんのPR活動も心強いです。ホームページ、CD『1000本桜音頭』PR紙芝居も制作されました。





# 小江川1000本桜 ガイドマップ

## 7つのみどころ、3つのめじるし +1 イラストMAP

林道、能動に面した丘陵地に、手ごろな起伏と「沼」と呼ばれる雨水利用の「ため池」が多い変化に富んだ風景。ハイキングファンに評価されるコースの全長は約12キロで、秋にはコナラなどの紅葉も楽しめます。

山歩きの醍醐味が味わえる「竹の内エリア」、小高い丘をぐるりと一周する「山中エリア」、塩古墳群が近い「船川エリア」。3つに大きく分かれ、どこから回っても楽しめます。



### MAP外+1 「三人寄れば」の文殊寺



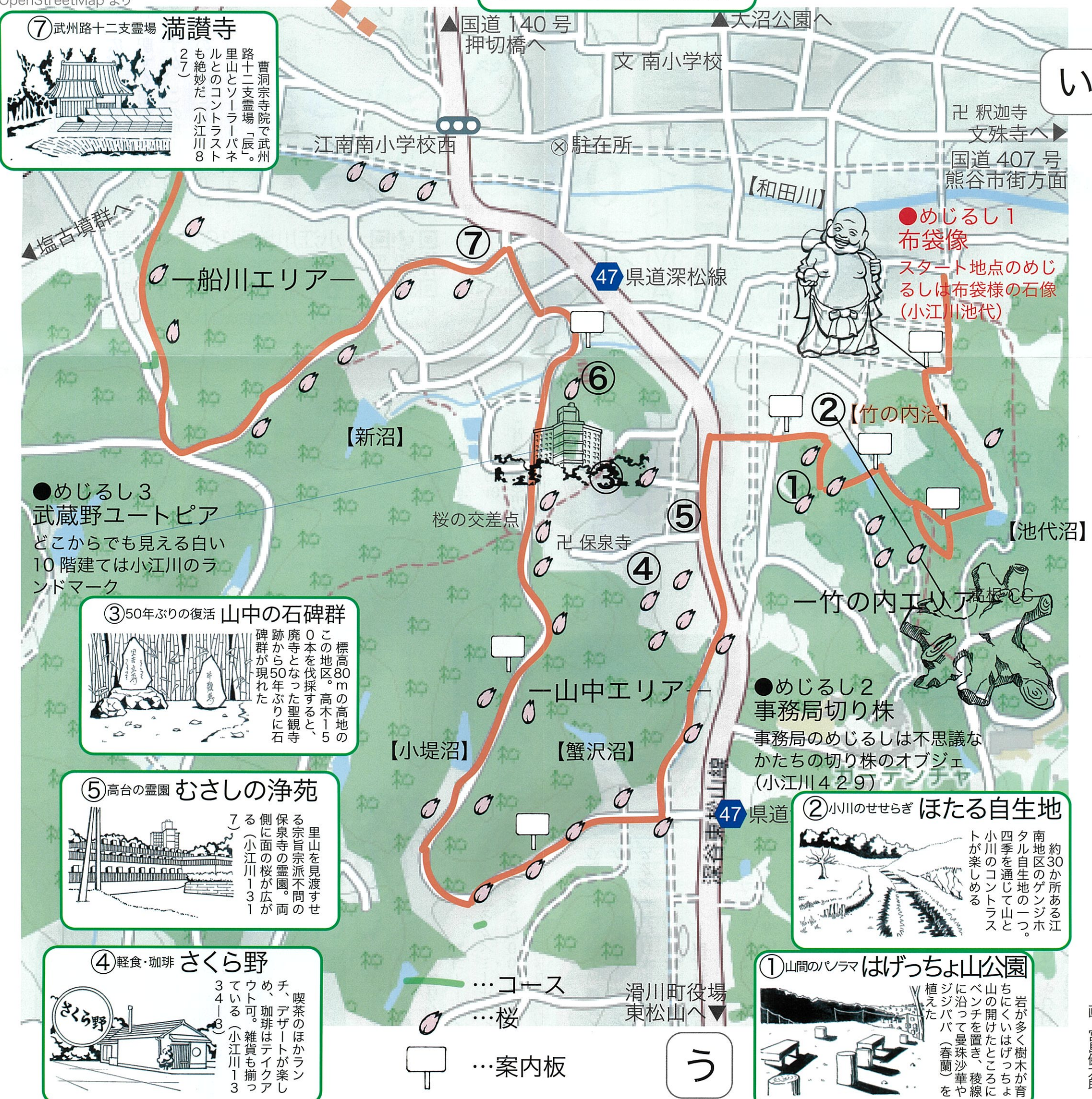
### ⑥ 小江川鎮守の杜 高根神社



あ

### ⑦ 武州路十二支霊場 満讃寺

曹洞宗寺院で武州路十二支霊場「辰」。里山とソラーパネルとのコントラストも絶妙だ(小江川827)



マナーのお願い 植栽域はすべて地元の地権者のご厚意にて植栽した区域です。植物、草花などは持ち帰らないでください。ゴミなどはお持ち帰りください